

SDGs 未来都市等進捗評価シート

広島県

2019年8月

SDGs 未来都市計画名

広島県 SDGs 未来都市計画

SDGs 未来都市等進捗評価シート

2018年度

1. 全体計画

計画タイトル	広島県 SDGs 未来都市計画
2030年のあるべき姿	2016国際平和のための世界経済人会議におけるマーケティングの大家、フィリップ・コトラー教授の「愛を増やし、武器と憎しみの連鎖を減らす」の提言を踏まえ、平和で持続可能な国際社会に向けて、①民間セクターが公的課題の解決に貢献していくプロセスへの参画を促す取組、②若者の平和への参画を促す取組、③観光、留学生、空き家をキーワードとして、県下全域で、様々な持続可能な平和促進モデルを具体化する。これらのモデルを広島が有する平和のシンボル性を活用し、県内・国内・国外に展開するとともに、平和の取組みが自律的に生みだされる仕組みを構築する中で、紛争終結地域や途上国をはじめ世界の経済の安定・発展に寄与して、2030年のSDGs達成に貢献する。併せて、これらの経験を踏まえ、2045年に向けた、「核兵器のない平和な国際社会」が、新たな国連の目標に位置付けられている。

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール	経済	社会	環境
	ゴール16 ターゲット16.4 ゴール9 ターゲット9.5 ゴール17 ターゲット17.16   	ゴール4 ターゲット4.4, 4.5 ゴール10 ターゲット10.2 ゴール17 ターゲット17.16   	ゴール12 ターゲット12.2 ゴール8 ターゲット8.9 ゴール17 ターゲット17.16   

優先的なゴール、ターゲットに関するKPI	No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2030年	進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）
	1	SDGsビジネス事業化企業		0件	20件
2	県及び県の関係機関で平和を学ぶ人数		4,864人（累計）	200,000人（累計）	進捗状況：18,570人。 課題等：開講中の講座等の広報、平和人材育成プラットフォーム構築のための調整
3	エコツーリズムとピースツーリズムを融合した新たなツアーコースの数		0件	5件	進捗状況：0件。 課題等：民間セクターとの連携

行政体内部の推進体制	自治体SDGsの情報発信・普及啓発の取組状況・課題	有識者からの取組に対する評価
<p>■各種計画への反映状況や課題 【広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略】2030年のSDGs達成に貢献する取組として「国際平和のための世界経済人会議」の開催などの取組について明記している。 今後は、総合政策等へのSDGsの推進に関する記述を目指す。</p> <p>■行政体内部の執行体制及び首長のリーダーシップ 総合政策や制度（総合戦略等）を担う企画部門とSDGsを総合的に推進する部門でSDGsの推進に向けて分担・連携して取り組んでいる。 また、知事や全庁の局長が参加する定例会議において状況を共有し、部局間横断の持続的な取組を行う。</p>	<p>■県内大学生にSDGsビジネスについての学習機会を提供し、当該大学生が県内企業の訪問・インタビューを実施して執筆した記事を取りまとめたSDGsビジネスセレクトブックを制作し、イベント等での配布、県ホームページ等に掲載することで情報発信した。 国際平和のための世界経済人会議を開催し、SDGs都市間ネットワークの形成に向け、SDGsに関するセッションやビジネスコンテストを実施するなど、県内外、国内外の取組や成功事例を共有した。 また、同会議では広島が有する平和のシンボル性を活かし、政治、経済、国連・政府機関、大学、研究機関、メディア、NGO/NPO、宗教界等の国内外の要人を招聘し、マルチステイクホルダーパートナーシップによって、SDGsを通じた国際平和への取組を加速するための方策について議論し、情報発信した。</p>	<p>・平和を切り口とした取組事例としては全国的にも例が少ないことから、本県の取組における成果が具体化し、他の自治体との連携などが進展されることを期待する。また、国外の自治体との連携の可能性などの検討を進めることにより「世界の平和都市 広島」として、より広く発信することを期待する。</p> <p>・全体的に成果の抽象度が高いという印象がある。平和を軸に展開するという広島の良さを生かしながら、従来の施策や行動と本計画と実行との違いが明確にわかるよう、成果を出すことを期待する。</p> <p>・KPI設定においても、ある行動が他のSDGについてどのような影響を与えたかまで計測することで、SDGとしての効果を測ることを期待する。例えば平和を学ぶ人数が増加することでどのような社会的・経済的・環境的影響がでているのかまで把握することを目指すなど、工夫いただきたい。</p>
ステークホルダーとの連携	地方創生・地域活性化への貢献	
<p>■県内の大学やアイセック広島委員会等と連携し、SDGsビジネスセレクトブックの制作や「国際平和のための世界経済人会議」の運営・企画等に関わりを持たせることで、学生の意識向上や経験の蓄積などから平和人材の育成を行っている。 また、NPO、民間セクターや経済界と連携し、平和の取組を生み出すプラットフォーム広島の構築に向け協議を行うなどしている。</p>	<p>■県内企業等のSDGsに係る先進的な取組等を発信していくことにより、民間セクター等との連携の強化を図り、公的課題の解決に貢献していただくことのできる高い技術力や製品を有している企業等がその可能性に気づき、県内・国内に限らず世界へ展開する意欲の増進やイノベーションを生み出すための支援ができると考えられる。SDGsをビジネスとして展開することができれば、県内企業の具体的な利益をもたらす、地域の経済の好循環が期待できる。 また、平和人材の育成を進めることで次世代を担う若者の平和に係る発信力が増加し、核兵器のない平和な国際社会の達成に向け、貢献する。</p>	

1. 全体計画

自治体SDGsの推進に資する取組の2020年のKPI	取組名	ターゲット	指標名	当初値	2018年	2020年	達成度 (%)	進捗状況や課題等 (定性指標や補助指標等を含む)
	① 平和の取組を生み出すプラットフォーム広島の構築	17.16 17.17	国際平和のための世界経済人会議の開催を契機とするプラットフォーム広島の構築	2018年度 0 件	2018年度 0 件	2020年 1 件	-50% 0% 50% 100% 0%	企業等のマルチステイクホルダーのプラットフォームへの参画に向け、国際平和のための世界経済人会議でセッションを実施した。
	② ビジネスセクターのSDGsへの参画の促進	9.5 17.16	SDGsビジネス孵化支援助成件数	2018年度 0 件	2018年度 26 件	2020年 20 件	-50% 0% 50% 100% 130%	県内企業等の取組をSDGsの観点から検討し、SDGs事業の発掘を行った。また、発掘された事業を冊子として取りまとめ周知した。引き続き、県内企業等のSDGsに係る取組を発掘し、プラットフォームへの参画を促す等、広島県内のビジネスセクターのSDGsへの参画を促進していく。
	③ 平和人材育成プラットフォームの構築	4.4	県及び県の関係機関で平和を学ぶ人数	2018年度 4,864 人 (累計)	2018年度 18,570 人 (累計)	2020年 13,920 人 (累計)	-50% 0% 50% 100% 151%	グローバル未来塾及びオンライン学習講座等により国内外の若者へ平和学習機会を広く提供し、また、ひろしまジュニア国際フォーラムでは広島へ招聘することにより平和を発信できる国際平和貢献人材の育成を図った。